



## 赤ちゃんの聞こえの検査 (新生児聴覚スクリーニング検査)について

生まれてきた赤ちゃんの健やかな成長は、誰もの願いです。1,000人に1～2人は生まれる気耳の聞こえに障害があるといわれていますが、そのしょうがいを早く発見して、適切な援助をすることにより、言葉の発達を促し、情緒や社会性を育てることができます。

Q；どんな検査ですか？

A；赤ちゃんが眠っている状態で小さな音を聞かせて、得られる反応を測定し精密検査の必要性を判定するための検査です。難聴の有無を判定するものではありません。眠っていれば、検査は数分で終わります。赤ちゃんが不快に感じることはありません。薬は使わず、副作用もありません。判定結果、必要な場合は精密検査を受診していただきます。

Q；検査時期はいつですか？

A；出生後後、1週間以内に行います。入院中に行います。また、前記に記載しましたように、入院中に行いますので、当院で出産された方のみを対象とします。

Q；費用はいくらかかりますか？

A；保険は適応されませんので、自費となります。消費税等で変動がありますので、産科外来のスタッフから出産が近づいたお母様へ、改めて費用の方は説明させていただきます。